

# ハ乙女

令和 7 年10月24日発行

編集・発行

南山見地域づくり協議会

富山県南砺市川原崎15  
南山見交流センター

TEL・FAX (0763) 82-5176  
mail:minamiyamami.kmn@gmail.com



| 種目         | 組・色 | 1組<br>赤           | 2組<br>白          | 3組<br>水色      | 4組<br>ピンク    | 5組<br>緑 |
|------------|-----|-------------------|------------------|---------------|--------------|---------|
| 町内名        | 院瀬見 | 東城寺<br>清玄寺<br>連代寺 | 谷<br>南山見新<br>志観寺 | 戸<br>里<br>川原崎 | 板<br>領<br>川崎 | 沖       |
| 缶積みレース     |     | 5                 | 2                | 4             | 1            | 3       |
| 明日に向かってゴール |     | 3                 | 0                | 5             | 2            | 4       |
| 防災バケツリレー   |     | 1                 | 3                | 4             | 5            | 2       |
| でたとこ勝負     |     | 2                 | 4                | 5             | 3            | 1       |
| 飛べ飛べ!スリッパ  |     | 5                 | 2                | 10            | 8            | 5       |
| 玉入れ(1回目)   |     | 1                 | 4                | 5             | 2            | 3       |
| 玉入れ(2回目)   |     | 2                 | 1                | 5             | 3.5          | 3.5     |
| 合計得点       |     | 19                | 16               | 38            | 24.5         | 21.5    |
| 順位         |     | 4位                | 5位               | 1位            | 2位           | 3位      |

## 第48回ハ乙女体育祭成績

参加した皆さんが楽しみ、怪我もなく大盛況で終わられたことは大変良かったと思います。体育祭の開催に際し、ご尽力いただきました皆さんに感謝申し上げます。

全競技終了後、私たち3組の優勝が知らされ皆さん大変驚いていました。谷公民館では、思いがけず慰労会が祝勝会となり、大いに盛り上がりしました。

## 第48回南山見地区ハ乙女体育祭

3組監督 谷田 真

9月28日(日)、井波中学校体育館でハ乙女体育祭が開催され、スポーツの秋を楽しみました。

当日は200人を超す地区住民の方々が集まり、改めて南山見地区の結束力を感じました。体育館での開催だからこそ、参加者同士の距離も近く応援にも力が入ります。珍プレーや好プレー続出の各競技に、皆さん爽やかな汗をかいておられました。

全競技終了後、私たち3組の優勝が知らされ皆さん大変驚いていました。谷公民館では、思いがけず慰労会が祝勝会となり、大いに盛り上がりしました。



### 体育祭の変更点

少しでも多くの方々が参加しやすい体育祭となるよう内容等の見直しを図り、今年から次のとおり変更しました。

- ・町内会の実情に合わせて組編成を見直し、参加チーム数を全部で5組に減らす。
- ・準備の簡略化、各チームの選手移動の明確化を図るため、会場を晴雨に関係なく屋内(小・中学校体育館)とする。
- ・「でたとこ勝負」の選手選考規準を緩和。それにより、広く参加しやすい競技数が3つに増えた。

※役員、町内会長、スポーツ推進員の皆様方には、計画段階からご協力を頂きありがとうございました。(実行委員会)

# 八乙女フェスティバル

～つながることの楽しさ、盛況に開催～



実行委員長 富田利通

8月15日(金)の宵、第48回八乙女フェスティバルを開催しました。

7月初めから最高気温が35℃を越す猛暑日が続き、8月に入ってもおさまる気配が感じられない中、「暑さ」が心配されましたが、会場準備直前に30分ほどの通り雨があり涼しさの感じられるグラウンドで実施することができました。

お陰様で、地区の皆さんや里帰りされた方々など、総勢約200名の来場者を数え、また、浴衣・甚平姿の幼児から小・中学生の子どもたちの参加が目立つ、にぎやかで楽しい会場となりました。

開会セレモニーの後、児童クラブ代表の荒井さく那さんと前田花凜さんによる交通安全宣言で幕開き。続いて、今回初出演となるアコースティック・ギター・デュオの「じゅんゆう」さんに、懐かしのフォークソングや人気のアニメ曲など、名曲の数々を演奏していただき、熱いステージとなりました。その後、八乙女セミナーの踊り



部会や民謡教室の皆さんのリードで盆踊りが行われ、「木彫り音頭」「越中おわら節」「炭坑節」に合わせ、幼児・児童を交えた楽しい踊りの輪が広がりました。

最後に、花火の打ち上げや、お楽しみ抽選会もあり、大いに盛り上がりました。

各種団体の皆さんには、今回も模擬店にて、生ビールに各種つまみ、かき氷、ジュース・お菓子、黒豆おこわ・笹もち等の販売、また、輪投げや金魚すくいなどの催事

を行っていただき、楽しく思い出に残るひとときを過ごすことができました。企画から準備・片付けに至るまでご協力いただいた町内会長さんや各種団体の皆さんに深く感謝申し上げます。南山見地区の交流を深め、「つながることの楽しさ・ありがたさ・大切さ」を改めて感じたフェスティバルとなりました。



## 児童クラブ入会式／花壇作り／あんどん作り

児童クラブ会長 亀田博義

6月8日(日)、南山見交流センターで児童クラブの入会式を行いました。本年度は新たに5名の新1年生を迎え、36名で活動をスタートしました。



入会式では、児童クラブ会長の挨拶の後、新入会員が紹介され、続いて南山見地域づくり協議会長から一人一人に記念品が渡されると、少し緊張した様子で受け取っていました。

入会式の後、高学年は外に出て花壇作りをしました。花と緑の銀行のグリーンキーパーの皆さんに植え方を教わり、綺麗な花を咲かせてくれることを願いながらプランターに1株ずつ丁寧に植えました。その後、体育館で高瀬遺跡菖蒲まつりに向けたあんどん作りを行いました。

忙しい中たくさんの児童・保護者の参加があり嬉しく思いました。

今後も笑顔あふれる活動を行っていききたいと思います。





## 令和8年度の「要望書」を提出しました

地域づくり協議会長 田 中 一 昭

6月末、各町内会より新たに提出いただいた次年度要望等を地域づくり協議会井波連合会に提出し、継続分を含め「井波連合会要望書」に盛り込んでいただきました。

10月8日(水)、この要望書を持って、井波連合会役員で、南砺市長そして市担当部長をお願いに行きました。市長要望の際には、才川市議会議員、蓮沼市議会議員、川原市議会議員にも同行いただき、今年も強く後押しをしていただきました。また、県や交通安全に関する要望に関しては、富山県砺波土木センター長、南砺警察署長をお願いに行きました。

本地区からの本年度要望事項は以下のとおりです。継続要望では一部付け加えや修正したのものもあります。

### 1. 新規要望

#### ①里領町内会からの要望

- ・主要地方道金沢井波線の側溝(農業用水路)の改修



#### ②地域づくり協議会としての要望

～複数の町内会に係る課題として～

- ・主要地方道井波城端線(里領～川原崎)、狭あいな歩道部分の拡幅・平面化の速やかな整備
- ・地区内一級河川の河川堤草刈り等、河川管理者(県)による適正管理への移行促進



### 2. 継続要望

#### ①院瀬見町内会からの要望

- ・市道井波院瀬見線、院瀬見地内路肩法面補修
- ・砺波南部広域農道、院瀬見地内歩道樹木の適正管理

#### ②清玄寺町内会からの要望

- ・市道井波院瀬見線、西大谷川橋段差の修復
- ・池田敷宅前市道の路肩法面の改修

#### ③七村区長会からの要望

- ・林道の適正な維持管理(道路脇の樹木の伐採、側溝の清掃等)

#### ④谷町内会からの要望を受けての地域づくり協議会としての要望

- ・イノシシ被害防止に関する地域連携による対応及び市助成金支給対象の拡大

#### ⑤主要地方道井波城端線(谷～城端)の歩道の拡幅等の整備促進(川原崎・沖地内)

#### ⑥市道東城寺線舗装補修(流水が均一に流れるオーバーレイ舗装)

#### ⑦県管理河川堆積土砂の浚渫

- ・干谷川(院瀬見～沖地内)

#### ⑧建設維持課への要望

- ・中江川(沖地内)の転落防止柵の改修

#### ⑨水路改修等

- ・川原毛谷水路線形改良

## 井波市民センターの移転先は「地域包括ケアセンター」に

7月10日(木)、八乙女フェスティバル実行委員会が開催され、その席上で、井波市民センターの移転について市の担当から説明がありました。

現在、庁舎統合に伴い井波庁舎については「取り壊し」もしくは「地域の民間事業者が一部活用」の方向でまちづくりの議論がされています。井波地域としては、庁舎の跡地を地域住民の憩いの場としての広場に整備し



活用していくことが検討されています。

また、井波市民センターの移転についても並行して準備を進める必要があり、移転候補地はいくつ

かありましたが、市の専用回線が整備されていることや高度なセキュリティが確保できる等の理由から地域包括ケアセンターに移転する案が示されています。



ただ、地域包括ケアセンター内でのスペースの確保や窓口利用者のためのローカウンター化などの調整事項も多数あり、移転の時期は早くても令和8年度末以降になるようです。なお、移転に関するご意見・ご質問等は、南砺市市民課(23-2008)又は政策推進課(23-2052)にお問い合わせください。

## 第40回南山見地区ビーチボール大会

沖チーム代表 高田 好史

7月12日(土)、健康づくりの一環として、第40回南山見地区ビーチボール大会が南山見体育館で開催され、各町内より計8チーム、応援を含め50人の参加がありました。



連日記録的な猛暑が続く中、当日もとても蒸し暑い日でしたが、その暑さに負けず白熱した試合の数々でした。幅広い年代層のチームがA・Bコートに別れて熱戦が繰り広げられ、会場には爽やかな汗とともに、笑顔と親睦の輪が広がりました。

私たち沖チームは、単独1チームの参加となりましたが、記念大会となる節目の大会で優勝することができました。

老若男女、チーム一丸となってボールを拾い、そしてつなぐ楽しさを味わいました。来年もビーチボール大会を通じて各世代の繋がりを深める場として、たくさんの方に集まっていただき、南山見地区を盛り上げる大会になることを願っています。



|    |       |
|----|-------|
| 1位 | チーム沖  |
| 2位 | 谷A    |
| 3位 | 里領+2  |
| 4位 | 院瀬見A  |
| 5位 | チーム合体 |
| 6位 | 川原崎   |
| 7位 | 谷B    |
| 8位 | ブレンド  |

## 屋敷林の枝粉碎機講習会



南山見交流センター駐車場で、屋敷林の枝粉碎機講習会を、第一弾は25名が参加し7月12日(土)、第二弾は10月19日(日)に行いました。

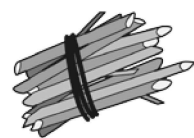
南山見地域づくり協議会所有の「枝粉碎機」の利用促進のため開催したもので、普段厄介者の庭木や屋敷林の枝ですが、粉碎機でチップにすることで、堆肥や鉢植えの保湿、雑草抑制にも使え、バイオマスとしての活用の幅が広がります。

講習会では、1m程の長さの枝が粉碎機にどんどん吸い込まれチップに早変わりをする様子に、参加された皆さんも興味津々でした。できたチップは、そのまま軽トラ

の荷台に直接排出されるので、交流センターで機械を使い、直ぐに必要な場所へ持って行くことができます。この機会に皆さんもご自宅の庭木の手入れに利用してみませんか。

なお、個人でも「枝粉碎機」はご利用いただけますが、次のような枝は処理できませんのでご注意ください。

また、運転中は刃の付いたドラムが高速回転していることから、取り扱いには十分気を付けてください。



### 【処理できない枝】

- ・竹や根っこ
- ・泥が付いているもの
- ・釘やビスが刺さっているもの
- ・大きく枝分かれしているもの
- ・濡れているもの
- ・片手で握れないほど太い枝



## ミライ緑日でワクワク ~イナミライデザイン~



7月12日(土)、井波八幡宮で「ミライ緑日」が初めて開催されました。

キッシュや太子饅頭、フルーツポンチなどの模擬店のほか、ヨーヨー釣りやイワナの塩焼き、フリーマーケットといった緑日の屋台のような店が境内に集まり、普段は静かな八幡宮ですが、この日ばかりは祭りのように家族連れなど大勢の人で賑わいました。



これは、NPO法人「イナミライデザイン」が主催したもので、普段、人の気付けぬ地域資源の魅力に光を当てて、今後のまちづくりを考えるきっかけにしようと企画されたもの

です。各種団体、地元事業者、高校生ら22店が出店し、南山見地区からも、谷川農園さんが野菜を販売、養蚕文化の承継としてアトリエ・ヒロから高倉さんが参加しました。

境内には七夕を飾り付け、御朱印帳の限定頒布や茅の輪のキーホルダー作りの催しも実施されました。

近ごろ、空き家問題がよく話題になります。井波の空き家は、「地域活性化の起爆剤」として見直されています。普段見過ごされがちな地域の資源にスポットを当て、イベントを通じて井波の未来を思い描き、地域が活性化するビジョンをみんなで考えてみませんか。







## 早朝から元気全開!!

### 三世代交流ラジオ体操・ミニマラソンの集い

青少年育成市民会議  
南山見単位会議長

武田 秀和

7月25日(金)、朝6時から親子や地域の方々65名が集まり、三世代交流ラジオ体操・ミニマラソンの集いを行いました。

規則正しい生活習慣を育むとともに、地域みんなで子どもたちを見守り育てていこうという機運を高めることをねらう南山見単位会議主催の伝統行事です。



ミニマラソンは、朝一番の涼しい時間帯だったからか、子供たちはパワー全開です。スタートの合図と共に猛ダッシュ。南山見交流センターから山に向かい往復

800mの道を激走。幸いケガ人もなく全員走りきることが出来ました。

6時30分からは、大人も子どもも全員でラジオ放送に合わせて元気に体操をしました。

この三世代交流を通じて、各世代の繋がりを深め合い有意義な朝を過ごすことができました。

みんな、暑さにバテルナヨ～!



## 忠魂碑慰霊祭・井波招魂社慰霊祭

忠魂碑維持会 前川 将

8月15日(金)、遺族の方々、来賓、役員23名が参列し、谷の浄教寺様のご厚意により、本年度も本堂内で高瀬真宏住職様の読経で、68回目の慰霊祭を執り行いました。



南山見忠魂碑は、今から97年前の昭和3年に旧南山見小学校前に建立され、その後現在の場所に移転されたものです。この忠魂碑は、西南戦争以来の戦没者を南山見村全体で祀るために建立されました。戦地におもむかれ、自らの命をお国のため



にと忠義を尽くされた方々のお陰で、私たちは今、こうして平和な暮らしをすることが出来るありがたさを改めて感じています。

また、地区忠魂碑慰霊祭終了後、井波招魂社でも神式で慰霊祭が行われ、南山見から地域づくり協議会田中会長らが参列しました。

井波招魂社は、井波全体で慰霊の誠をささげる場として創建されましたが、経年による屋根の腐食や傷みが著しく、皆様方にも修復工事のためのご寄進を多数いただいています。

今年は、先の大戦の終戦から80年を迎えます。世界では今もミサイルが飛び交うような戦争が続いているところもあります。悲惨な戦いが、一日も早く世の中から無くなることを願います。



## 全国大会で奮闘!!



第59回全国道場剣道大会(7月29～30日)が日本武道館で開催され、院瀬見の篠原性織さん(小4)、高橋映登さん(小4)が出場しました。

これは、全国剣道道場連盟が主催し、全国から予選を勝ち抜いた優秀なチームが一堂に集まり、日本一を競うとともに、日頃の鍛錬の成果を発揮する場として開催されているものです。

試合は3人戦で、1回戦から強豪九州の福岡県代表チームと対戦。先鋒高橋さんは、惜しい打撃もありましたが引き分け。中堅も引き分けとなり、いざ大将戦へ。篠原さんの相手は、個人戦で県チャンピオンの強者です。緊張した場面でもあり善戦したものの2本負けとなり、

チームは0対1で惜敗しました。

差し面が得意という篠原さんは「緊張した。相手

は動きが早く強かったけど向かって行けた」と話し、小手が好きという高橋さんは「集中して頑張れた」と、二人とも来年も全国大会出場を目指し、リベンジを誓っていました。

初めての全国大会でしたが、自分の力を出し切れたと思います。今回の経験を今後に活かし、お二人がこれからますます素晴らしい剣士に育っていくことを期待したいと思います。



## 第1回八乙女講座 ～地域の魅力、再発見～

### 「米づくり日本一」川原宗市氏 記録映画『六石六斗』鑑賞会

7月28日(月)、南山見交流センター大ホールで第1回八乙女講座を開催しました。

今回は、昭和29年(1954)、川原宗市氏(戸板)が「米作り日本一」を樹立され、その取組を全国に普及させるため、農林省主導で、翌30年3月から収穫まで7ヶ月間の農作業の様子を撮影し製作された記録映画『六石六斗』を特別に鑑賞しました。



「米づくり日本一」は、戦後の食糧不足と米の自給率100%を目指し、昭和24年から20年間にわたる米の多収穫競争事業で、川原宗市氏が第6回大会で樹立された記録は反収6石6斗3升(993.9kg)。当時の全国平均

均2石5升(308kg)の約3倍、今日のファーム八乙女の平均反収の約1.8倍という驚異的なものでした。

講座では、始めに、郷土誌編集委員長の富田さんから「米づくり日本一」事業について、また、川原彦市さんからは、お父様の米づくりへの探究心、それを支えられたお母さまのこと、村づくりに励む当時の南山見地区の雰囲気等についてお話を伺い、鑑賞に臨みました。大スクリーンに、昭和30年当時の南山見の自然、農村風景や、川原さん一家の農作業の様子、とりわけ土壌環境の改善、健苗づくりと密植、間断かんがいの徹底が映し出されると、そのたびに会場の60名余からは歓声があふれました。地域の魅力を再発見したひとときとなりました。



## 守れ棚田! ボランティアの輪広がる

志観寺地区の棚田で、8月31日(日)、市内外のボランティアで結成した「しかんじ応援隊」が初めて畔の草刈りに汗を流しました。

志観寺地区は、標高約200mに農地があり、高低差70mに約8畝の棚田が広がっています。主に稲作が行われており、耕作放棄地ではソバの栽培も始めました。中山間地域等直接支払制度も利用し、農用地を維持・管理していく取り組みもしていますが、近年は住民の高齢化などにより、農地の保全が課題となっています。今回結成した応援隊は、地元の方々や「しかんじ棚田を守る会」



が、「NPO法人グリーンツーリズムとやま」の協力や、地区内外からのボランティアの協力も仰ぎ、農村地域の活性化を目指す地域に、県が人的支援などを行う「中山間地域

交流スタートアップ事業」も取り入れ、関係人口の増加により、棚田を生かすことを目指し取り組みを行います。

草刈りは、地元の方々を含め、遠くは滑川市からのボランティアなど22名が参加。グズ葉が生い茂る法面を草刈り機で朝から約2時間、砺波平野を一望できる高台の風景を満喫しながら作業をしました。

また、9月21日(日)には、稲刈り体験会があり、18名が参加。親子連れらが稲刈りやハサ掛けなどの農作業をし、収穫の秋を楽しみました。5月の田植えにみんなで植え、大きく育ったコシヒカリを、1株1株丁寧に鎌で刈り取りました。

今後は、サツマイモの収穫体験会、更には農泊事業の企画も予定しています。



## シートベルトしんまい(新米)け!!

### 交通安全協会井波支部南山見分会

9月29日(月)、旧農協機械センター駐車場において、交通安全協会井波支部南山見分会の方々が、秋の全国交通安全運動に合わせ「シートベルトしんまい(新米)け」キャンペーンを実施しました。新米のコシヒカリ約20kgを小分けにした小袋を、山野保育園の年長児8名が「キッズポリス」となり「安全運転してください」とドライバー一人一人に手渡しました。交通量の多い県道なので、安全のため警察官が車両を駐車場に誘導しました。

皆さんも、全ての座席におけるシートベルトの着用とチャイルドシートの使用で交通事故死0を目指し、普段から交通ルールを守り安全運転に努めましょう。



## 地区内防犯パトロール

### 南山見防犯組合



南山見防犯組合では、毎年地区防犯パトロール計画に基づき、1年を通じ月1回、最終土曜日の夜間に井波一円をパトロールしています。毎回各町内から2名1組で「青パト」に乗り込み、不審な車や人がいないか見回ります。

「青パト」を運転する場合は、乗車する方の内最低1人は「防犯パトロール実施者証」を携行することが義務付けられています。新たに実施者証を取得する場合は、「青パト運転講習会」を受講する必要があります。取得後は、3年ごとに更新があるので講習会の再受講も必要となります。

また、役員が終わって使用しなくなった場合は、速やかに警察署へ実施者証を返納してください。



## 第2回高齢者学級開催 ～品川市民病院長をお招きして～ 高齢者学級長 才川 昌一

9月6日(土)、南山見交流センターにおいて南山見老人クラブ連合会の高齢者学級を行いました。第2回目の講師に南砺市民病院の品川俊治院長をお招きし『たかが咳されど咳～長引く咳の正体を知って、スッキリ解消!～』の演題で講演をいただきました。



品川院長は18年前に市民病院に赴任され、副院長の後、今年4月から院長を引き受けられました。富山県立山町に医師の家系としてお生まれになり、医師のあるべき姿を幼い時から父や祖父の背中を見ながら育ち、医師を志されました。清水前院長や南元院長からの病院理念である「確か

で温かい医療」を継承しながら地域包括医療を守ってきたいとのことです。呼吸器内科の専門で、良い咳(生理的)と悪い咳(病的)があり、咳が続く期間での危険度・長引く咳の原因・診断の方法、そして適切な診断と治療により健康な生活で笑顔の毎日を送ってくださと結ばれました。

公的病院といえども、高齢化や人口減少などの影響により経営が厳しい状態です。地域医療を永続的に維持していくためには、医療機能の再編・地域診療の拠点の創設・市立2病院の一体的な運営が必要であり、公立病院の今後の在り方を求めていく過渡期に品川院長の手腕に期待したいと思います。



## 三世代交流サロン「たまねぎ収穫祭」

南山見社会福祉協議会 朝倉 喜八郎



今年で3年目になる「三世代交流サロン たまねぎ収穫祭」が、7月21日(月)の海の日に八乙女サロン会館で行われました。

午前9時頃から高齢者や親子連れの方々が徐々に

来られ、大人54名、子供22名の計76名と多くの方に参加して頂きました。又、山野地区の方も数名来られ、興味深く見学しておられました。

篠原会長の挨拶があり、ホールで子ども達と一緒にゲームが始まりました。モルック、丸めた新聞紙の投げ合い、コイン落とし、輪投げ、トスポール等です。特に人気だったのが新聞紙の投げ合いです。子ども達の賑やかな声がホールに響き渡りました。ゲームが終われば、

お待ちかねの食事の時間です。本日のメインは、「たまねぎのカツ」を利用したカレーライス。その他に、トウモロコシ、キュウリの浅漬けの串さしなど盛り沢山です。たまねぎはサロン会館の菜園で採れたものですが、野菜は役員による持ち寄りです。皆さんおいしく召し上がってもらい満足の笑顔でした。

12時に閉会しましたが、手土産として、参加された方全員に、たまねぎを1個ずつ持って帰ってもらいました。

10月には秋の三世代交流サロンを予定しています。より皆さんの絆が深まるようになればと思います。

大勢の皆様の参加をお待ちしています。



## 第1回高齢者学級

地区社協・老連合同学習会

6月16日(月)、八乙女サロン会館ホールで地区社協と老人クラブ連合会が合同で第1回高齢者学級を開催しました。参加者は43名



で、県厚生連健康福祉アドバイザーの大浦栄次氏を講師に迎え「骨密度の計測と総評」と題しユーモアあふれるご講演をいただきました。講演前に、機械の不具合というアクシデントがありましたが、かかとの骨密度を測定しました。講演は、骨と筋肉の働き、骨密度の検診の過去のデータが紹介され、どうしたら骨密度を上げることができるのか等わかりやすく、そして楽しく学習することができました。運動(かかとあげや早歩き)、食事(カルシウムの摂取)、太陽を浴びる。この3つをやるだけで、年を取っても骨密度を上げることができるそうです。ぜひ皆さん実践してみたいはかがででしょうか。

## 全国一斉社会奉仕活動

南山見老人クラブ連合会



南山見老人クラブ連合会では、7月12日(土)及び9月20日(土)の早朝、南山見交流センター周辺及びグラウンドの草刈り等の環境

美化活動に汗を流しました。2回の活動とも会員27名が参加しましたが、特に9月の活動は、「きれいな地球を子どもたちへ…」をスローガンに展開される全国一斉「社会奉仕の日」に合わせ取り組みました。

今後とも、地区に貢献し環境保全に取り組んでいきたいと思っています。



クラブ・セミナー・  
教室紹介コーナー その5

## 子ども民踊教室



代表 武田 東洋子

子ども民踊教室は、第2、第3金曜日の18時30分から19時30分まで、南山見交流センターの大ホールで練習をしています。

踊ることが好きな子ども達ばかりで、毎年11月に開催される八乙女文化祭では、綺麗に化粧し着物を着て、日頃磨いてきた踊りの成果を発表しています。井波総合文化センターで開催される井波地域文化祭にも参加しており、広い舞台でスポットライトを浴びて踊ります。

現在教室には、3歳児から小学6年生までが仲良く参加していますが、来年の春に6年生が卒業すると少し寂しいです。幼児から小学生までの踊りが好きなお友達をいつでも募集していますので、ぜひ遊びに来て下さいね。いつでも待っています。



## 受賞おめでとうございます

○富山県自治会連合会会長表彰

碓井 好彦さん (令和7年6月30日受賞)

○南砺市交通安全協会交通安全功労者

前川 幸雄さん (令和7年5月31日受賞)

## 交流センターの看板 を更新しました

7月22日(火)、県道井波・城端線(県道21号線)沿いにある、「案内板」の表示を新しくしました。

「南山見交流センター」に名称を変更し、青矢印を更新。来館される方々に、より分かりやすくなりました。



## 編集後記

この秋も熊の出没・人身被害が全国各地で盛んに報じられ、当地区においても、早朝に地区内を歩く姿が十数年ぶりに目撃され、協議会でもホームページにて被害の未然防止をお願いしたところ。臆病で賢い熊が山の上部から平地にまで降りてくる原因は色々あるのですが、便利さと効率の時代に「境界」が揺らいできていることがあるように感じます。

自給自足の時代、人々は田畑を開墾し山深く分け入って食料や燃料を賄ってきました。当然、熊をはじめとする獣とは熾烈にせめぎ合い、その末に明快な「境界」を築き、永く棲み分け、共存してきたと思われます。しかし、生活様式の変化、また、高齢化や居住人口の急速な減少に伴う農林作業の外注化・集落の共同作業の維持困難などにより、かつての「境界」が揺らぎ崩れてきているのではないのでしょうか。熊の出没は、そうした私たちの今の暮らしや地域の有り様を教え、考える契機を与えてくれる鏡なのかもしれません。見えないことへの「想像力」と真の「協働力」が試されています。(T2)

## 巳年にふさわしい珍来客

9月9日(火)、山崎敏幸さん宅の納屋付近で、「幻のヘビ」と言われる体長20cmほどの「シロマダラ」が発見されました。

「シロマダラ」は、夜行性のため、目撃例が極端に少ないことから「幻のヘビ」と言われており、その希少性からテレビニュースでも取り上げられました。このヘビは、日本の固有種で、本州、四国、九州まで広く分布し、平地から山地まで様々な環境に生息していると言われています。人の指くらいの細身のヘビで、灰色や茶褐色の地に黒褐色の横斑があるのが特徴です。トカゲや小さなヘビを餌にしています。毒は無いですが、攻撃的な性格なので、噛みついてくることもあるので注意してください。

今年は巳年。巳は「実入り」に通じ幸運を呼ぶ象徴とされています。突然の珍客でしたが、何か良いことがあるかもしれませんね。



## 猛暑猛威 炎天下の中へり防除



今年の夏は、記録的な猛暑が続き、富山气象台によると、8月末までの猛暑日は26日、8月4日には統計史上最高の39.8℃を記録、7月の平均気温が史上3位の

29.2℃で降水量も31.5mmと史上7番目に少なくなりました。皆さん、連日の熱帯夜でぐったりだったのではないのでしょうか。そんな中、田んぼの中で大活躍していたのが、ファーム八乙女の無人ラジコンヘリでの防除。イネに悪影響を及ぼす害虫に対し薬剤を散布するもので、昔は炎天下の中、何人もの人足でホースを引っ張って、田んぼの中に入って防除をしていました。一面に広がる農地に電柱が少ない南山見地区では、ラジコンヘリ散布が最適。就農人口の減少に頼もしい助っ人です。